

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		動物愛護管理					所管	健康部 生活衛生課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	93	計画事業名	動物愛護と適正管理			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現 [施策] 20 生活衛生環境の確保					[事業開始] 昭和50年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕							
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、化製場及び動物質原料運搬業営業者 最終的な対象 : 一般区民									
	事業目的	愛護動物による周辺への迷惑を防止するとともに、動物の愛護と適正管理を推進し、動物を通じた心豊かな社会を築く。									
	事業内容 [H30年度]	(1) 化製場等及び動物質原料運搬業の営業許可等 (2) 家庭動物等の適正飼養の普及啓発及び苦情相談対応 (3) 動物愛護週間中央行事「どうぶつ愛護フェスティバル」を環境省、東京都とともに主催 (4) 適正飼養講習会の開催(犬のしつけ教室、地域猫講習会、終生飼養講習会等) (5) 飼い主のいない猫対策(地域猫活動の支援)									
	委託の有無	一部委託		委託内容		犬のしつけ教室実施委託					
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	犬の適正飼養講習回数		回	9	9	9	9	9	100.0%	
		猫の不妊去勢助成頭数		頭	300	389	292	255	400	63.8%	
	成果指標	家庭動物等の苦情・相談件数		件	120以下	92	90	77	150以下	-	
		地域猫ボランティア登録者数		人	450	375	406	442	415	106.5%	
	決算額 (単位:千円)					H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				12,484		12,716		11,854	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				781		1,774		1,176	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				3,999		3,091		2,684	
総経費				17,264		17,581		15,714			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				55		77		63		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				2,041		1,594		1,597		
	一般財源(区負担額)				15,168		15,910		14,054		
課題及び今後の進め方	犬の苦情相談件数は依然として一定数あるため、更なる飼い主のマナー向上が課題である。そのため、講習会の内容や区民への啓発方法等を検討していく必要がある。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	犬のしつけ教室は、新たに犬を飼い始める人や問題行動で悩む飼い主からの需要があり、行政が廉価に実施することで、幅広い飼い主のマナー向上に繋がっている。飼い主のいない猫対策は、事業の成果が表れているが、現状を維持するためには今後も必要な事業である。								
	効率性	3	犬のしつけ教室の募集については、動物病院にも協力を仰ぎ、広く周知を行っている。また、今年度から新たに犬を飼い始めた人を対象に通知を行い、参加者の増加に繋がった。								
	手段の適切性	3	飼い主のいない猫対策は、猫に関心のない人の理解も必要不可欠であるため、保健所で開催する講習会だけでなく、地域へ出向き様々なイベントで広く啓発を行った。また、今年度から地域猫アドバイザー手帳を作成し、ボランティアの知識や技術に合わせて交付することで、地域猫活動のレベルアップを図った。								
目的達成度	4	家庭動物等の苦情・相談件数、地域猫ボランティア登録者数共に、目標を達成した。特に猫に関しては苦情相談件数が平成29年度54件から平成30年度30件に減少した。猫の不妊去勢手術助成頭数は減少しており、着実に飼い主のいない猫の数の減少に伴い、その被害も減少している。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性				
犬の飼い主のマナー啓発等については、講習会の内容や啓発方法の見直しを行い、引き続き飼い主のマナー向上と適正飼養の普及啓発を推進していく。また、飼い主のいない猫対策は、事業の成果が表れ未手術の猫が減少し、不妊去勢手術助成頭数が減少した。猫に関する苦情相談件数も減少しているが、更なる区民の住環境衛生向上のため、今後も継続して対策する必要がある。							維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		